

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

(公益社団法人) けいしん神奈川

②施設・事業所情報

名称：城山中央保育園	種別：児童福祉施設	
代表者氏名：田中ひろみ	定員（利用人数）：90名（85名）	
所在地：神奈川県相模原市緑区久保沢1-5-47		
TEL：042-782-5135	ホームページ： http://www.city.sagamihara.jp/shisetsu/child/hoiku/1002926.html	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和49年5月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：相模原市		
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：21名
専門職員	保育士：22名	事務補助：1名
	調理員：6名	保育補助：1名
	庁務員：3名	嘱託医：2名
施設・設備の概要	（居室数）15室	（設備等）面積1,282.28㎡（うち屋外遊技場656㎡）
		鉄筋コンクリート造2階延べ床面積503.21㎡

③理念・基本方針

「全園児を全職員で」を理念として保育をしています。私たちがいつも大事にしていることは以下の5点です。

- ① 一人ひとりを大切に、尊重する保育を目指します。
- ② 安心できる環境の中で、のびのびと安心して過ごせる保育を目指します
- ③ 一人一人の要求や欲求に柔軟に応じられる保育を目指します。
- ④ クラスの枠を取り除き、保育士全員で保育する姿勢をもちます。
- ⑤ その子によって必要だと思った時に、必要なだけ関わられるようにチームワークよく保育します。

④施設・事業所の特徴的な取組

① 幼児組のオープン保育

自分で遊びを選択し、その活動を保障できるように、保育室や園庭にさまざまな遊びのコーナーを設け、最後までやりとげる力や思いやりの心を大切にする保育を進めています。共同の玩具や道具を大切に扱う気持ちや、物を大切にする気持ちを育てています。また、保育者が一緒に活動を行いながら扱い方、片付け方などを伝えています。

② 地域の小学校や幼稚園との交流

小学校教育との接続に向けて、つながる保育教育を実現するために、地域の小学校と積極的に交流しています。年間で計画を立て、相互の目的が実現するような立案と振り返

りを行い、次回に役立てています。また、校内研修に参加したり、小学校教諭が保育体験をしたりすることで相互の理解につなげています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成31年4月26日（契約日）～ 令和2年3月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成23年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 「全園児を全職員で」を保育理念に掲げオープン保育を実践しています。

保育の中では、子どもの満足感が十分に得られ、活動を主体的に取り組めるようクラスの枠にとらわれずに、子どもの活動に即して柔軟に保育のあり方を変えていこうとする幼児オープン保育を実践しています。子どもの成長に合った活動を保障し「また明日、遊びの続きがやりたい」と思えるような援助を心がけています。個人差をふまえ、その違いを尊重し、対応に配慮しながら保育しています。

2. 園長のリーダーシップ発揮の下、当園の保育の質の向上に努めています。

園長は、公立園の施設の長としての遵守すべき法令を理解し、自らの役割と責任を職員及び保護者に対して表明し理解を図っています。保育の質の向上については、日々の記録を通し狙いや保育士の関わり方、振り返り、明日への課題が整理されているかを確認し、足りないところは自ら考えるよう指導し職員の育成に努めています。補助職員に業務を切り出すことで業務効率を推進しています。公正・公平な処遇制度に努め、ワークライフバランスにも配慮し組織の活性化に努めています。

3. 職員の質の向上を通して園の質の向上に向けた取組がなされています。

「相模原市保育者ステップアップ研修」では、階層に応じた研修や、深めたい内容を希望できる研修、また、単年度でなく継続して学びを深められる研修もあり、専門性を磨いた資質向上につなげています。職員の自己評価は職位別に評価し、前期に評価した内容を後期に生かし振り返りを行っています。園の評価は振り返りと改善を保護者に公表することで、質の向上を目指しています。職員は目標管理シートとして、その年度の目標を、時期も具体的に設定し、進捗管理をしながら達成を目指しています。

◇改善を求められる点

1. 保護者とのよりきめ細やかな連携、情報の共有が望まれます。

保護者との連携・交流については、園の基本理念・方針から日々の様子に至るまであらゆる事項について説明や連絡をし合い、密接な連携・協力体制ができ、情報交換が行われていますが、時には不徹底・不十分な事象も生起しているようです。利用者アンケートにもこれらに関する改善意見・要望も見受けられます。園と保護者の双方に引き続きの改善努力が望まれます。

2. 災害への備えに終わりはありません。

今回の保育所保育指針の改定で「健康及び安全」の章の中に「災害への備え」という節が新しく追加されました。現在、当園は「相模原市立保育園防災の手引き」により地震等につき避難訓練を複数パターン用意し柔軟に対応しています。年に一度消防署との合同訓練を行い災害に備えています。しかしながら自然災害は「保育所の弱いところ」をついてやってきます。災害対策に「これで十分」ということはありません。日頃の訓

練を通して今まで以上に「臨機応変」に対応できるよう期待しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

「第三者評価を受審して」

平成23年度の第三者評価を受審して以来、8年ぶりの受審となりました。

8年の間に保育制度等の変化や異動による職員の入れ替わり等もあったため、職員全体で評価項目を読み込んだ後、項目別にグループで検討し、それを職員全体で確認するという作業を繰り返しながら準備を進めました。

作業を通じて、今まで慣習のように行っていた事柄や、共通認識だと思っていたことが、個々に捉え方が違うことに気づかされることもありました。

職員がお互いの意見を語り合い意思統一を図っていくこの経験は、保育園全体、そして職員一人一人の自己評価を行う作業であり、保育の質の向上と職員同士の協調性を深める機会となりました。

評価項目の事例を丁寧に見ながら、当園の良いところや課題を明確にして下さった評価員の皆様、また、お忙しい中、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

今後も利用者の皆様に満足していただけるような保育園を目指して、職員一同、努力していきたいと思えます。

城山中央保育園
園長 田中 ひろみ

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり